

## 2025年度一般選抜 出題の意図

科目名 【 TEAP国語 】

---

日本語で書かれた様々な文献の読解力を試すため、現代文・古文・漢文の大問三題で構成した。

### 大問一

安藤馨・大屋雄裕『法哲学と法哲学の対話』から出題した。分量は3000字程度。法哲学をめぐる評論文である。抽象的な概念を用いた現代の文章の基礎的な読解能力を試すため、論旨の把握の問題を中心とした。やや難解な文章であるが、設問を解きながら読み進めると全体の論旨をつかむことができる。

### 大問二

鴨長明の歌論『無名抄』から出題した。分量は800字程度。古文で記された文章の基礎的な読解能力を試すため、文脈に応じた語句や文の理解、和歌の意味の把握、敬語の用法、正確な現代語訳、文学史の知識の問題を設定した。

### 大問三

陳淳による朱子学の基礎用語を解説した『北溪先生性理字義』から出題した。分量は180字程度。漢文の基礎的な読解能力を試すため、細部の語句や文の意味を問う設問を中心とし、その上で全体の内容把握の問題を設定した。